



小学校国語6年 公共図書館を活用しよう ～福岡市総合図書館～

小学校6年の国語の学習に「公共図書館を活用しよう」という学習があります。この学習は、学校図書館以外の公共図書館を活用して、本と出合ったり、自分の知りたい情報を収集したりできるように、公共図書館の活用方法について学習するとともに、自分の生活する地域の施設を積極的に利用していこうとする態度を育てることをねらいとしています。

福岡市内の公共図書館としては、福岡市立の福岡市総合図書館と福岡県立図書館（東区箱崎）があります。

福岡市総合図書館は、本館（早良区百道）と各区の11の分館（東区2館、博多区2館、南区1館、中央区1館、城南区1館、早良区2館、西区2館）で構成されています。蔵書も200万冊を超え、西日本有数の蔵書数です。

また本館は、図書資料を扱う「図書館」、歴史的資料を扱う「公文書館」、映像資料を扱う「フィルムアーカイヴ」の3つの機能を有しており、各部門が有する多角的な機能を組み合わせ、相乗効果を生むことで、魅力ある生涯学習推進の中核施設を目指しています。その他、本館には、九州国連寄託図書館や点字図書館、文学館、映像ホール等の施設もあります。

なお、福岡市総合図書館の「総合」とは、新しい時代の多種多様な市民ニーズに応えるため、従来みられた寄せ集め型の複合施設ではなく、3つの部門の機能・活動の連携に着目した新しい形の総合文化施設という意味で名づけられています。

<九州国連寄託図書館>

国際連合（国連）がその活動状況について世界各国の人々の理解を得るために、国連の刊行する資料を寄託し、一般に公開しているところです。

現在、世界に約 360 カ所、日本には 14 カ所であり、九州では西南学院大学、琉球大学と福岡市総合図書館に設置されています。資料の内容として、調査報告、統計情報、条約集などの刊行物をはじめ、国連総会、安全保障理事会等の公式記録及びドキュメントがあります。

<点字図書館>

点字図書・録音図書資料等を収集、製作、保存して、視覚障がい者の利用に供するとともに、その読書に関する環境の充実を図り、視覚障がい者情報提供施設として福祉の向上に資することを目的として設置されています。

電子図書館

令和5年3月に文部科学省から出された「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」では、基本方針として、

- I 不読率の低減
- II 多様な子どもたちの読書機会の確保
- III デジタル社会に対応した読書環境の整備
- IV 子どもの視点に立った読書活動の推進

が挙げられています。

その方針にもあり、全国の公立図書館で、電子書籍及び電子図書館の導入・活用が進められています。

福岡市総合図書館においても、1万冊以上の電子書籍を揃えるとともに、今年の4月より、「まんが学習」、「アンパンマン」、「おはなし・学び」の計3つのカテゴリにおいて、複数人が同時にアクセスできる読み放題シリーズを揃えています。

図書館の貸出カードがあれば、福岡市総合図書館 HP にて、パスワード設定を行った後に、ご自分のスマホ等ですぐに、読めるようになりますのでご活用ください。

また、図書館の貸出カードも、スマホ等から、「ふくおかサポート」にアクセスすれば、図書館デジタルカードを発行することができます。

「不読率の低減」や「多様な子ども達に対応した読書機会の確保」に、電子書籍を活用することは今後重要となってきます。「紙」と「デジタル」の良いところ活かしたいものです。

<須藤>



7月3日 「通天閣の日」

1912年、大阪市浪速区に通天閣が完成しました。1903年に内国勧業博覧会の跡地に、娯楽地「新世界」を開発した際、その中心にパリのエッフェル塔と凱旋門を模して作られました。第二次大戦中に金属回収のため撤去されましたが、1956年に再建されました。

7月24日 8月5日 「土用の丑の日」

「土用」は立春・立夏・立秋・立冬の前の18日間をさし、「土用の丑の日」は、今年は6回あり、夏の「土用の丑の日」は2回あります。ウナギを食べる習慣は、江戸時代から続いているといえます。

かすや 昌宏 (1937.7.18～)

兵庫県生まれ。日本の絵本作家。児童演劇活動ののち絵本の世界に入る。海外でも高い評価を受け多くの絵本が出版されている。絵本のほか、教科書の挿絵(『ごんぎつね』『やまなし』(光村図書))等を手がけている。

和歌山 静子 (1940.7.24～2024.1.8)

京都府生まれ。挿絵画家、絵本作家。20代後半から子どもの本の仕事を始める。絵本『おおきなちいさいぞう』『王さまシリーズ』『オムくんトムくんシリーズ』などの挿絵を手がける。『おーい、はーい』など自作の赤ちゃん絵本も数多く残している。

マーシャ・ブラウン (1918.7.13～2015.4.28)

アメリカ生まれ。図書館員をしながら絵本作家を目指し、1946年に最初の絵本『メリーゴーランドがやってきた』を出版。自作のほか『三びきのやぎのがらがらどん』など各国の伝承に挿絵をつけた再話も多い。作品ごとに大きく画風を変えることでも知られる。

アレクサンドル・デュマ・ペール
(1802.7.24～1870.12.5)

フランス生まれ。小説家、劇作家。演劇からスタートしたが、『三銃士』や『モンテ・クリスト伯』など歴史小説などが知られている。息子アレクサンドル・デュマ・フィスは、『椿姫』の作者として有名である。

図書館員のひみつの本棚 第218回

今月は、幼いころの夢を叶えた少女が主人公の伝記絵本を紹介します。

『どうぶつがすき』

パトリック・マクドネル／さく なかがわちひろ／やく あすなろ書房(2011年) ¥1500(税別)

<お勧め年齢>

乳幼児★☆☆ 小低学年★★★ 小中学年★★☆ 小高学年★☆☆ 中学生☆☆☆

高校☆☆☆ 一般☆☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

自然や動物が大好きで、好奇心旺盛な女の子ジェーンは、ぬいぐるみのチンパンジー、ジュビリーといつも一緒です。にわとりがどうやって卵を産むのか知りたくて、鶏小屋に忍び込み、藁をかぶって何時間も待ち続け、その瞬間を見ることができて喜んだり、木に登りそよ風に吹かれながら、ターザンの本を何度も読み、アフリカに想いを馳せたりします。

「いつかアフリカにすんで、たくさんの動物たちと仲良くなりたいな。」その想いを胸に温め続け、ついに・・・！！

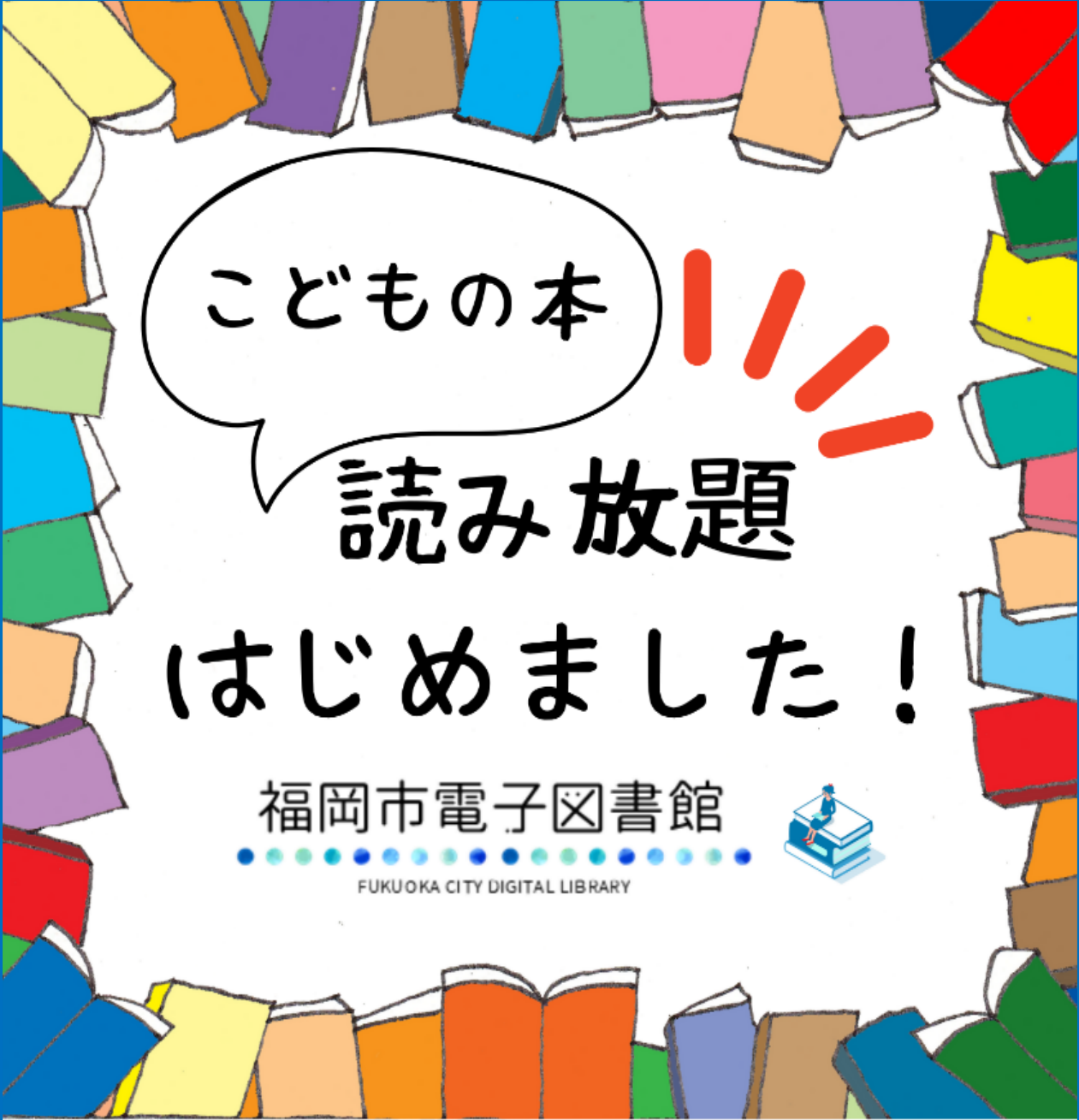
<子どもに手渡す時のポイント>

親しみやすい絵で、動物学者ジェーン・グドールの少女時代が描かれています。そして最後のページはなんと、夢を叶え、成長したジェーンと赤ちゃんチンパンジーが見つめ合う写真！ジェーンを知らずに読み進めた子ども達も、このページでジェーンが実在の人物と分かり、驚きと共に、一気にジェーンに親しみと興味を抱くでしょう。巻末にはジェーンについての説明や、ジェーンから読者へのメッセージも載っており、ジェーンの活動を通して自然や動物、環境について、新たに興味を持つ子ども多いかもしれません。ページのあちらこちらに装飾的な美しい図版がちりばめられているので、それらをゆっくり楽しみながら読み進めるのもおすすめです。

ジェーン著作の絵本や、ジェーンに関する伝記も他に出版されていますので、興味を持った子どもたちにぜひ手渡してみてください。



このコーナーで紹介した本はお近くの図書館に置いてあります。ぜひ手にとってみて下さい。



こどもの本

読み放題
はじめました！

福岡市電子図書館



FUKUOKA CITY DIGITAL LIBRARY



福岡市電子図書館に新機能「読み放題」が登場しました！

通常貸出中の場合、他の方が読むことはできませんが、
「読み放題」では同時にアクセスし読むことができます！
「アンパンマンパック」、『ほねほねザウルス』『にじいろフ
ェアリーしずくちゃん』などを含む「岩崎書店おはなし学びパ
ック」、『どっちが強い!?』などを含む「KADOKAWA漫画学
習パック」です。

ぜひこちらからアクセスしてください！

福岡市電子図書館の利用には図書館の貸出カードが必要です。



福岡市電子図書館「読み放題」
ページへのQRコード



いつでもどこでも 電子図書館

お持ちのスマートフォンやタブレット、パソコンから電子書籍が借りられます。図書貸出カードの番号とパスワードで、いますぐログイン！

貸出期間
2週間

貸出冊数
3冊まで

予約冊数
3冊まで

詳細は図書館HP、
もしくは窓口まで
お尋ねください。

↓ チェックが2つ付いた方は、即利用可！！

必須	☐	福岡市総合図書館の図書貸出カードをお持ちの方
どちらか一つ	☐	福岡市内在住の方
	☐	市外在住で、福岡市内に通勤・通学している方 ※事前に窓口で手続きが必要です。



はじめてご利用の方
パスワード申請はこちらから
※総合図書館HPの
利用パスワードと共用です。



福岡市電子図書館の
ご利用はこちらから

福岡市電子図書館

